



ピュアフラワー新聞

2014年12月号

— Pure Flower News —

Vol.8

一年の始まりを飾るお正月花

今年ももうあつという間に終わりが近づいてきました。クリスマスが終わればあつという間に年の瀬ムード、そしてお正月…。そんなバタバタしがちな時期こそ、お花を楽しんでみましょう♪今回はお正月にピッタリの「縁起もの」のお花をご紹介します。

松・竹・梅(菊)

言わずと知れた縁起ものの松竹梅。門松などでよく見られます。常緑樹である松は不老不死の象徴として、節目正しく真っ直ぐ伸びしなやかな竹は節操の象徴として、縁起が良いとされています。ここに古来より寒さにも負けず高貴な香りを漂わせる縁起ものの梅の花が加わり、松竹梅と呼ばれます。また、梅の代わりに長持ちする菊が用いられることもあります。



今月のワンポイントレッスン

今回ご紹介した縁起ものの中から、松や梅などの枝もののお手入れの仕方をご紹介します！手で折りづらい枝ものは、切り口に縦にはさみを入れて広げる根元割りをします。

- (1) はさみを開いて刃元を切り口にしっかりあて、茎を縦に割ります。
- (2) 刃を閉じたまま切り込みをグイグイと押し開き裂け目を広げます。
- (3) 枝が太い場合は、十文字になるようもう1度、茎を縦に割ります。



切り口が開いていないと吸水力が落ちますので、しっかりこじ開けてください！
割って裂くかわりに、カナヅチで砕いても◎

たくさんの水を必要とします。水が少ないとすぐなくなってしまう。

また、枝は重いので、水が少ないと花器が倒れて危険です！

硬い枝もののお手入れをするときは、たっぷり水を入れ、倒れないように気を付けてくださいね。

葉牡丹

普段は公園などでよく見かける葉牡丹も、お正月花では大活躍！葉牡丹は色が赤白二種類あり、縁起が良いとされています。また、貴重で手に入りづらかった牡丹に似ていることから、代用品として用いられたのが始まりと言われています。



千両・万両・南天

いずれも赤い小さな実をつける植物です。実の付き方がちがうものの、見た目はほとんど見分けがつかないくらいよく似ています。千両や万両といった名前は景気が良く、南天には「難をはらう」という意味があることから新年に好まれます。



そのほかにも、蘭や椿、水仙、バラなどなど…どの花にも、これからの一年が良きものになるよう願いが込められています。

一年の計は元旦にあり。華やかな縁起もののお正月花を飾れば、ハッピーな一年が過ごせそうです♪